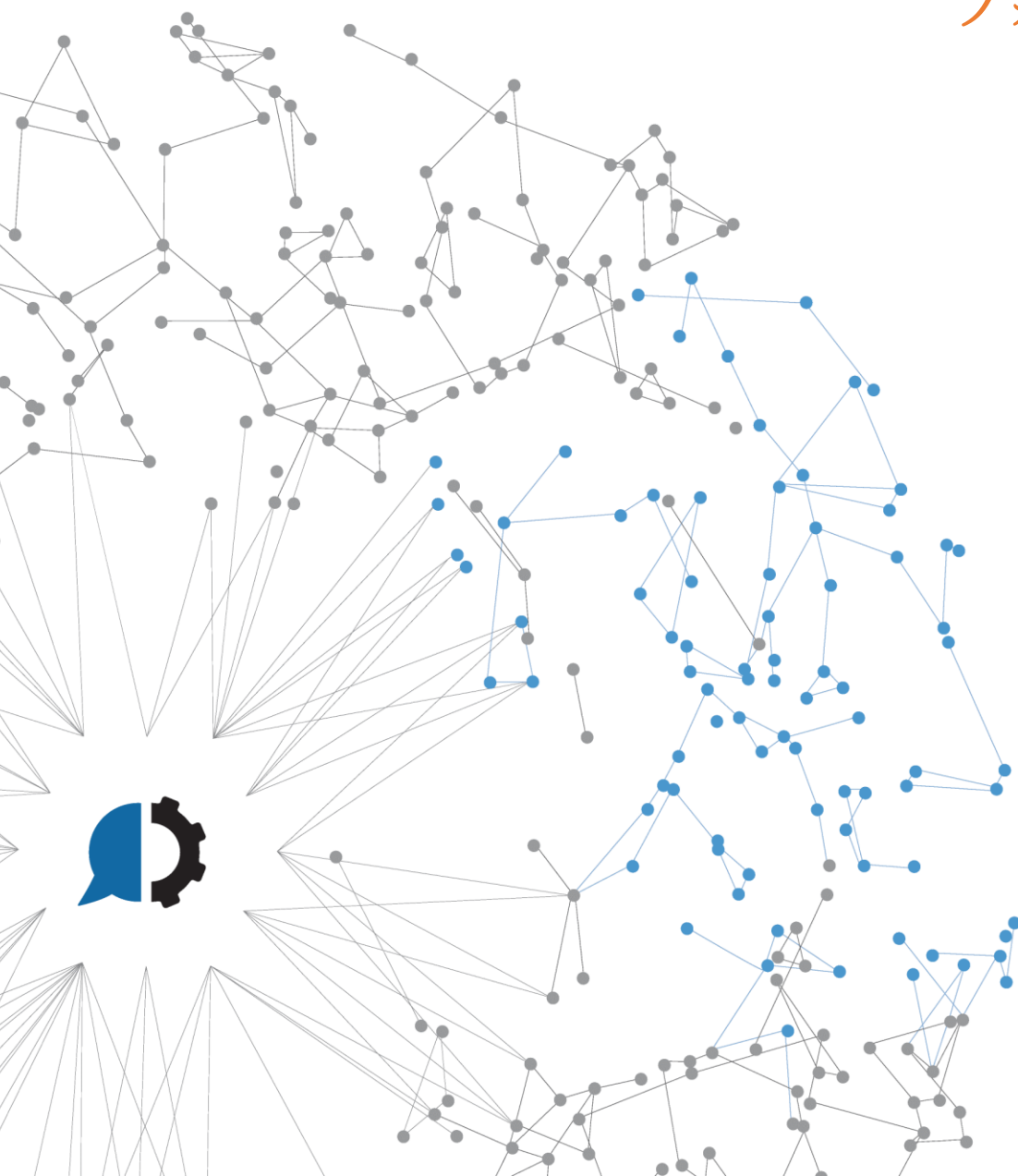




SMARTSHEET

フォームの取得





内容

概要.....	3
必要条件	4
AUTOMATE タスクのインポート方法	5
「SMARTSHEET-フォームの取得」の実行方法.....	6
付録 A – SMARTSHEET - FORM RETRIEVER 実行例	8
付録 B – トラブルシューティング	9



概要

このハウツーガイドでは、「Smart Sheet – フォームの取得」についてご紹介します。AutoMate は、反復的なマニュアル作業に貴重な時間とリソースを費やす代わりに、ロボティック・プロセス・オートメーションによって IT やビジネスプロセスを合理化します。Automate は手作業を代行することで、反復的な作業を大幅に減らし、作業の質と一貫性を向上させることができます。自動化される主なプロセスは、レポート作成、ファイル移動、データのインポート・エクスポート、バッチ処理のスケジューリングなどです。

「SmartSheet – フォームの取得」は API を経由して接続し、フォームの応答を直接 Smarthsheet から取得することができます。お客様の Bearer トークンを使用し、結果をスプレッドシートとしてダウンロードして分析します。



必要条件

- **AutoMate:** 「SmartSheet – フォームの取得」 AutoMate ソフトウェアに依存して動作します。最低限サポートされているバージョンは以下の通りです。
 - [AutoMate Ultimate 11.2](#)
 - [AutoMate Plus 11.2](#)
 - [AutoMate Desktop 11.2](#)
- **Automate Markup Language file (.AML):** Smartsheet タスクのステップを含む AutoMate で使用される主要なファイルタイプです。
- **SmartSheet information:** このボットの実装には、少なくとも3つのパラメータが必要です。
 - 開発者登録はこちらの URL から登録します: <https://developers.smartsheet.com/>.
 - **SmartSheet ID:** Smartsheet のアカウントで、データを取得する特定のシートに移動します。左側のメニューで、[Sheet Actions] アイコンを選択します。プロパティ] を選択します。シート ID をコピーします。
 - **SmartSheet Token:** Smartsheet にログインします。右上にユーザー アイコンがあるアカウント メニューで、[Apps & Integrations] を選択し、[個人設定] ウィンドウで、左側のメニューにある [API アクセス] オプションを選択します。API アクセス トークンの管理] の下で、[新しいアクセストークンを生成する] ボタンをクリックします。新しいアクセストークンに名前を付けて、OK をクリックします。

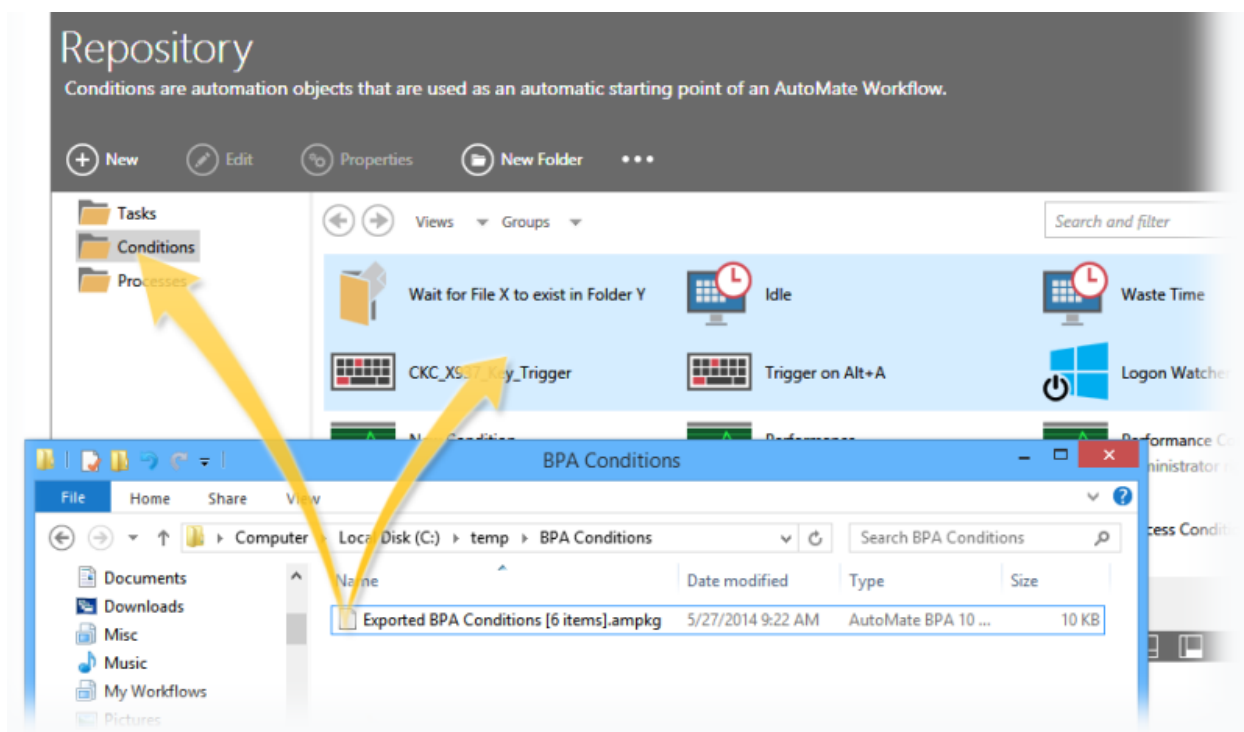


AUTOMATE タスクのインポート方法

互換性のあるファイル形式は、ドラッグ&ドロップでリポジトリに取り込むことができます。

サーバー管理コンソール(SMC)から、[リポジトリ]セクションに移動します。

目的のファイルを元の場所からドラッグして、SMC 内のフォルダにドロップします。ファイルは、フォルダーアイコンまたはメインパネルにドロップすることができます（下図参照）。インポートされたオブジェクトは、自動的に対応するリポジトリの場所に配置されます。



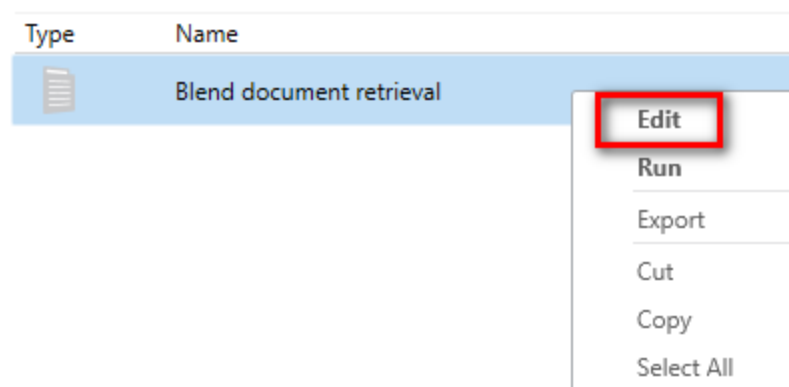


「SMARTSHEET – フォームの取得」の実行方法

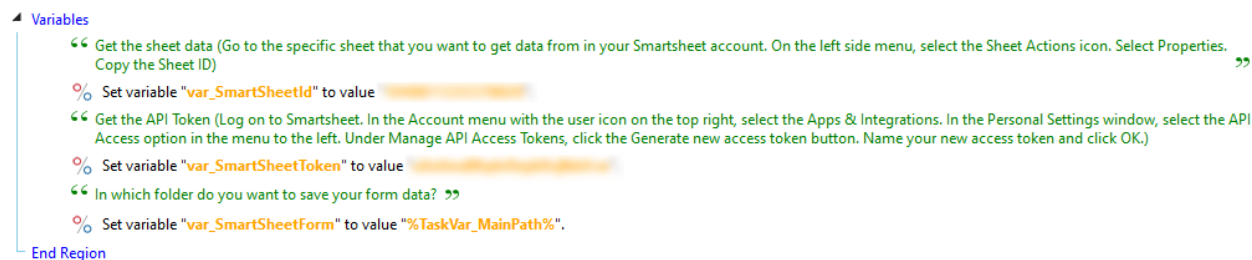
このタスクを初めて実行する場合、いくつかのパラメータを設定する必要があります。このドキュメントの「前提条件」のセクションを参照してください。

スタジオを開き、インポートしたタスクを探します。

インポートしたタスクを右クリックし、編集を選択して編集します。

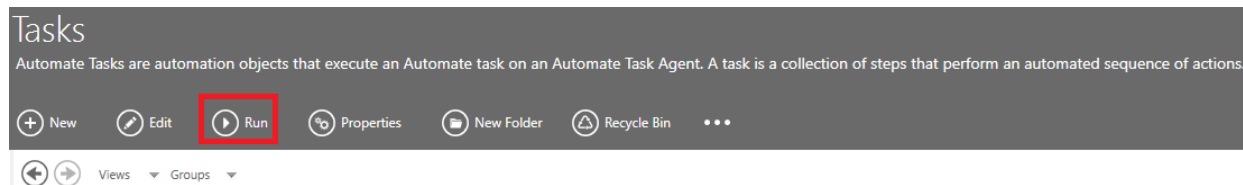


目的の出力に合わせて変数を編集する:



タスクを保存して閉じる

タスクを選択し、「実行」をクリックします。



ボットを選択し、再度「実行」をクリックします



Tasks

Automate Tasks are automation objects that execute an Automate task on an Automate Task Agent. A task is a collection of steps that perform an automated sequence of actions.

New Edit Run Properties New Folder Recycle Bin ...

- Tasks
 - Samples
 - SAP Bots
 - Tareas útiles
 - Conditions
 - Processes



Select Agent/Agent Group

Select the Agent/Agent Group to run the task or process on

Name
AUTOMATE85QA001

Run

Cancel



付録 A – 「SMARTSHEET – フォームの取得」の 実行例

ボットを実行するたびに、スプレッドシートがフォーム名で作成されます。

デフォルトでは、C:\Automate\Tasks\Task_Name に配置されます。

TaskName は、実際のタスクの名前です。デフォルトでは、SmartSheet - Form retriever です。

SmartSheet と Spreadsheet の比較

Name	Email	Ok	Comments
Paul William Necklen	paul@helpsystems.com	Yes	I feel great
Dario Soria	Dario@helpsystems.com	Yes	Day 2 - Feeling Great Still

	A	B	C	D
1	Name	Email	Ok	Comments
2	Paul William Necklen	paul@helpsystems.com	Yes	I feel great
3	Dario Soria	Dario@helpsystems.com	Yes	Day 2 - Feeling Great Still
4				



付録 B – トラブルシューティング

- ログ: BOT の各イテレーションでは、トラブルシューティング用のログ ファイルが作成されます。ログ ファイルは、C:\Automate\Tasks\<<task name>>の下にあります。デフォルトでは、*Blend – Document retrieval*。



About HelpSystems

Organizations around the world rely on HelpSystems to make IT lives easier and keep business running smoothly. Our software and services monitor and automate processes, encrypt and secure data, and provide easy access to the information people